

「図書館は、いかなあかん」

私は、この外大付属図書館で6ヵ月アルバイトしましたが、書庫での作業も多かったため、何度も行く機会があったので、様々な分野の本が置いてあり、専門性も高いことに驚きました。また第1、第2閲覧室には魅力あるコーナーがたくさんあり、中でも第2閲覧室のEasy Readingのコーナーは、洋書を読みたいけど、原書では難しいという人にすごくおすすめです。まだ図書館を十分に活用していない人も多いと思うので、そういった部分を発見し、自分のためになるよう活用するためにぜひ図書館を訪れてほしいと思います。



本学英米語学科 4年次生
坂口 友香さん

「図書館の有効な利用について」

図書館では、常に学生にどのような情報を提供すべきか検討、配慮されており、発信型の図書館を目指しています。その情報発信型の一つとして図書館のホームページがあります。ホームページは知識の宝庫であり、見るだけでも為になります。ぜひみなさんも一度図書館のホームページを開いて活用してみてください。



本学英米語学科 4年次生
澤 佳余さん

「図書館で働いてみて感じたこと」

今まで書庫に入庫したことさえなかった私ですが、図書館で働き始め多くの本に触れる機会が増え少しずつ興味を持つようになってきました。ちょっとしたきっかけで何かに興味を持てるということは大変素晴らしいことだと思います。まだ入庫されたことがない方にはぜひ一度入庫してみたいと思います。



本学英米語学科 4年次生
高畑 麻姫さん

「図書館が毎年行う稀覯書展示について」

何より図書館でアルバイトをしてよかったと思ったことは、稀覯書展示作業に参加できたことです。その中で特に印象深かったのが、普段見ることができない巨大な本を二人掛かりで運んで展示したり、本のページ1枚1枚、子羊の皮をはいてつくられた手書きの本を身近で見られてその上、そんな稀な本にふれられたことなどがあげられます。



本学英米語学科 4年次生
水口 尚子さん

「アジア関係図書館のアルバイトで見つけたこと」

書庫やカウンター、閲覧室を行ったり来たりする中で、「こんな本が!」、「こんな利用法が!」という発見が多くありました。分館には、中国語やアラビア語の本や、日本の漫画、小説、ガイドブックなどの日本を外国語で紹介する本などの他、書庫には、ファッション雑誌から学術雑誌まで多くのバックナンバーがありました。カウンターでは、図書館の方が熱心に、資料の相談にのってられる様子をよく目にしました。



本学英米語学科 4年次生
藪田 倫代さん

